



平成26年度の一般会計の歳入は51億8,545万円でした。国や県などに頼った依存財源が67.6%、町税などの自主財源が32.4%となっています。なお、自主財源には前年度からの繰越金などが含まれており、実際の収入は27.7%という状況です。依存財源の中で最も多い割合を占めるのが地方交付税19億9,833万円で、歳入全体の38.5%を占めています。

〔平成26年度決算概要〕
 平成26年度一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。今月号では、桂川町の平成26年度決算概要を公表します。

一般会計は歳入・歳出ともに前年度より減額となり、歳入は前年度に比べて5億6,879万円減の51億8,545万円、歳出は5億3,840万円減の49億7,342万円となりました。

自治体財政の健全化を示す「健全化判断比率」と「資金不足比率」は、早期健全化基準および経営健全化基準を大きく下回っており、桂川町は財政の健全性を保っています。

より詳しい情報は、桂川町ホームページをご覧ください。

平成26年度の町の財政状況をチェック!

決算

【問合先】企画財政課 財政係
 ☎65・1085

平成26年度 健全化判断比率 資金不足比率

健全化判断比率項目	桂川町	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	算定されず	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	算定されず	20.00%	30.00%
実質公債費比率	4.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	0.3%	350.0%	—
資金不足比率	算定されず	20.00%	—

※赤字額や資金不足額が生じていない項目は「算定されず」と表記

- 実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の比率
- 連結実質赤字比率…一般会計のほか特別会計などすべての会計の実質赤字の比率
- 実質公債費比率…公債費等の比重を示す比率
- 将来負担比率…地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率
- 資金不足比率…公営企業の資金不足の比率